

11 みつばっこエコクラブ(大仙市) 幼児

地域の方々に園庭の横に畑を作ってもらい、一緒に春から秋にかけてジャガイモ、きゅうり、かぼちゃ、ピーマン、大根などの栽培・収穫を行いました。

自分たちで収穫した野菜の花の色や形に興味を持つ子どもや「いつもよりおいしい」と言って食べる子どもの姿がありました。農業体験を重ねていくことで食への関心も深まるとともに食物を大切にする気持ちを育む基盤となりました。

今後も地域の方々との交流と農業体験を通して自然を大切にしている気持ちを育んでいきたいです。



地域の方と野菜の苗を植えている様子



夏野菜の収穫の様子

12 花岡小 アルミ缶集めプロジェクト(大館市) 小学生

環境教育支援校

全学年で力を合わせて活動するふるさとキャリア教育。本校のテーマは「勇気・つながり・チャレンジ」。子ども同士がつながり、地域とつながり、自分たちがやるべき事を見極めて自主的に進めるチャレンジ活動を行っています。5月は、地域をきれいに目的で「大谷になろう ハッピーアップ大作戦! (地域の企業とタイアップして行われたクリーンアップ)」として実施されました。そして3年生を先頭に通年で取り組むアルミ缶回収も、地域を巻き込んで行われています。今までに110kgという回収量となりました。

この秋も、ポスターを書いたり、地域へのおたよりを通じて呼びかけをしたりしながら、300kgを目指しています。



大谷になろう ハッピーアップ大作戦!



業者の方と積み方作業

13 ありうらエコクラブ(大館市) 小学生

環境教育支援校

本校では6年生が総合的な学習の時間に「我ら未来大館市民、我らSDGs発信隊〜ふるさと大館を持続可能な未来の街へ〜」として、SDGsについて学習しています。今年は大館市内での取組について、水、リサイクル、フードロス、安全、感染症の分野に分かれ、市役所や企業に直接伺い、インタビューを行いました。調べたことをもとにSDGsの視点でアイデアをまとめ、取材に協力してくださった方々をお招きして自分たちが考えた未来大館市の姿をプレゼンしました。



安全について警察署で取材



SDGsプレゼンの様子

14 飯島南小学校6年(秋田市) 小学生

環境教育支援校

本校では、「花いっぱい」を合言葉に、自然を大切にし、子どもたちが主体となって多くの花を育てました。特に、今年は花の種類と本数を増やし、より命を大切にする心の育成に励みました。

また、理科の授業の中でSDGsに関連した学習を進め、自分の気になる環境問題について調べ学習を行いました。調べた内容をスライドショーにまとめ、学級で発表しました。

自分たちで調べたことにより、地域や自然を大切にする心が育っています。



花の鉢植え作業



SDGs発表会

15 西目シーガルエコクラブ(由利本荘市) 小学生

本クラブでは、西目環境保全活動の会の皆さんと西目川の生物生息調査を行い、川に住む魚や水中生物を通して、地域の環境を守っていく大切さについて考えました。

また、イラスト・クラフトクラブは、西目中学校と西目高等学校の美術部の生徒と一緒に、海ごみのブイにイラストを描き、西目海水浴場につながる道路沿いに「Welcome ブイ」を設置しました。

西目地域にとどまらず、他地域の方に向けても環境保全のメッセージを発信しました。



西目海水浴場「Welcome ブイ」



西目川生物生息調査

16 井川義務教育学校自然観察クラブ(井川町) 小学生

今年度も地域の先生に協力していただきながら、「国花苑の植物観察」「カヌー体験」「井川の水質調査」など、自然と触れ合う体験を行うことができました。子どもたちからは、「身近な国花苑にある植物について知ることができた」「初めてのカヌーで前に進むのが難しかったけど、楽しかった」などの声が聞かれました。

これからも、ふるさと井川の自然を大切にしていけるよう、子どもたちの活動をサポートしていきたいと思っています。



カヌー体験



国花苑での植物観察

17 雄物川小学校(横手市)

小学生

本校では毎年、環境ボランティア委員会が中心となり、全校児童でアルミ缶とプルタブの回収と花壇整備に取り組んでいます。

今年度も、月に1回程度玄関ホールで回収を行い、委員会の時間にアルミ缶収集の呼びかけ用のポスターやお便りを制作しました。収益金を活用して、福祉に関わる物品等を購入し、年度末に社会福祉協議会を通じて地域の福祉施設に贈る予定です。

また、花壇への水やりや草取り、校内外の清掃を定期的に行い、学校の美化に協力することができました。

これからも、地域や学校のためになることを考えて活動していきたい、思いを強くしているところです。



マリーゴールド植栽の様子



朝のアルミ缶とプルタブ回収の様子

18 醍醐小学校キラリエコクラブ(横手市)

小学生

環境教育支援校

リンゴの里で有名な醍醐小学校のキラリエコクラブです。

今年度も夏休み最終日曜日に、PTAと小学生、地域住民、中学生ボランティアが一体となって資源回収に取り組み、例年集めている新聞・雑誌、空き瓶に加え、牛乳パックを集めました。

また、児童会が中心となり、毎週金曜日にアルミ缶のリサイクルを行い、その収益金を地域の介護老人福祉施設へ贈ることで、施設が車いすを購入するお手伝いをさせていただいています。

さらに、総合的な学習の時間ではSDGsを意識した内容に取り組んでいます。その一環として、5年生が学校近くにあるSDGsに関連した取組をしている会社を見学し、多様なSDGsのあり方を学習してきました。



5年生総合的な学習の時間の様子



資源回収の様子

19 浅舞小学校(横手市)

小学生

身近な環境に目を向けるとともに、自然の良さに触れ、地域づくりに積極的に関わっていくことをねらい、ひまわり栽培を核とした「ひまわりプロジェクト」やアルミ缶回収、植物の栽培、地域探検に取り組んできました。これらの活動を通して、地域環境の再発見、自然の恵みの豊かさ、リサイクルの大切さなどを学ぶことができたように思います。

収穫したひまわりの種は、搾油し、ひまわり油として販売する予定です。



ひまわりプロジェクト



自然を見つめる活動

20 横手南小学校(横手市)

小学生

本校では、全校児童で一人一鉢運動を行っています。今年も1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペアになってペゴニアの苗を鉢に植えました。地域の方々も手伝ってくださり、学年で交流しながら楽しく活動しました。毎日水やりを行い、元気な花を育てました。6年生は横手川の自然を学びました。美土里ネットさんが来校し、横手川に住む生き物たちについて紹介してくださいました。

また、横手川河川敷のクリーンアップをしました。



ペゴニアの苗植え



横手川河川敷のクリーンアップ

21 大雄っ子エコクラブ(横手市)

小学生

今年度、本校では地域の方々と協力し、「たいゆわくわくガーデン」をオープンしました。たくさん咲いた花を使って1・2年生は押し花を作り、学習でお世話になった地域の方に送りました。

また総合的な学習の時間には、各学年で大豆や米、ホップの栽培や味噌造りなどを行いました。

大雄の食の豊かさや地域の方々の情熱に触れることができ、ふるさとをますます好きになりました。



たいゆわくわくガーデン、オープン!



味噌を仕込みました!

22 角間川小学校エコクラブ(大仙市)

小学生

本校では、自然を大切に、身近な環境を守ることをねらいとして、全校児童71名で活動に取り組んでいます。学校の花壇にはマリーゴールドなどを植え、さつまいもの苗植えや収穫をなかよしグループで行いました。

エコ委員会では、朝顔とゴーヤを育てて緑のカーテンとし、夏を涼しく過ごすことができるようにしました。また、地域の小中学校合同で親水公園クリーンアップ活動を行うこともできました。

今後もエコに関する様々な活動に積極的に取り組んでいきます。



マリーゴールドを植えました



クリーンアップ活動